

## 会議結果（要旨）

会議名	第9回 余市町地域公共交通検討委員会（第1分科会）
開催日時	令和4年10月17日 午後1時30分
開催場所	余市町役場 302号会議室
会議内容	1. 開会 2. 委員長について（資料1） 3. 協議事項 余市循環線の運行状況と今後に向けた検討（資料2） 4. その他 5. 閉会
議題	別紙のとおり
出された意見等 （要旨）	<p>■委員長の選出 千葉委員を委員長に選出</p> <p>■協議事項 余市循環線の運行状況と今後に向けた検討</p> <p>【事務局から資料の説明】 本年度4月から9月末までの乗降者数、1便当たりの平均乗車人数、1km当たりの乗車人数、これまでの運行実績からみた各主体の推測負担額について説明。 余市紅志高校生徒へのアンケート結果からの需要増の検討結果の説明。</p> <p>【事務局案の説明】</p> <p>① ルートの変更について 西部（富沢・梅川方面）の利用者からの不便になったとのご意見について、持続可能な・当初の協議会での路線設計経過・交通空白地帯かどうかとの視点から、今のところルート変更は考えないでいいのではないかと。</p> <p>② 便数について アンケート結果からも夕方下校便に需要があると考えており、その時間帯における増発をしたいと考えていたが、運行主体者側による運用面での課題と、生徒の部活動終了時間のばらつきについてより深堀する必要があるとして継続検討としたい。</p> <p>③ ダイヤについて 現行で余市紅志高校の生徒をはじめとして特段の支障が出ていないため、大きな調整はしないものの、冬ダイヤでの広域路線の調整に合わせ、微修正を事務局と運行事業者に委任いただきたい。</p>

**【主な質疑等】**

・余市紅志高校生徒へのアンケートにおいて「バスが小さい」といった意見が多いが乗れていないのか

➡（事務局）乗降者数調査や運行事業者からのヒアリングによると、乗れないといった事象はない。これは座ることができないという意味での回答と認識している。運行コストや狭い道路を通ること等もあり、乗ることを確保できている以上この点については乗客の方々にはご了承願いたい考えている。

・循環線とは話がそれるが、積丹線等を高校前に通学下校の時間に乗り入れることはできないか

➡（委員）困難

・生徒への配慮に感謝。

・負担額の減について感謝。このまま持続していける路線として欲しい。

・アンケートにおいて高校生の「利用したことがない」の人数は減っていくと考えているか、増えていくと考えているか。

➡（事務局）乗ることができる機会は用意するが、毎年の生徒の状況によって変わる。ここを随時調整する必要があると考えている。

➡（委員）マイカーの送迎が多いということもある。

➡（委員）割り箸の削減等は若年層での刷り込みの成果。同様にマイカーを環境配慮としてのバス乗車といったモビリティマネジメントも必要